



1 飛騨地学研究会談話会のお知らせ

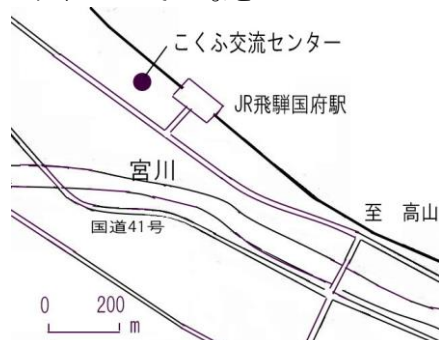
次の日時に、飛騨地学研究会談話会を行います。参加をお願いします。

【日時】7月2日（日） 午後6時～8時

【場所】こくふ交流センター（国府支所2階・研修室A）JR飛騨国府駅の横
〒501-4192 高山市国府町広瀬町 880-1 TFL 0577-72-3111

【内容】7月以降の活動計画

飛騨山脈ジオパークについて など



2 3月飛騨地学研究会談話会の報告

3月4日（土）午後1時より、古川町総合会館で談話会がありました。参加者は、次のメンバーです。下畑会長、岩田副会長ほか、打江、寺門、中口、笠原（善）、木下、直井、山下、坂本、中田の各会員でした。

議題のひとつは、下畑会長による高山市ジオパーク協議会の報告です。協議会では、すでに平成27年から設立準備をしています。平成27年には、乗鞍岳等でジオツアーが開催されています。平成28年には、信州大学の原山智教授によるジオパーク講演会などがありました。昨年12月26日には、高山市ジオパーク協議会設立総会が行われ、高山市長の國島芳明氏を会長として、具体的に組織、方法、日程等が話し合われました。予算も計上され、飛騨地学研究会も役員になりました。今後は、ジオパークの設立に向けて、飛騨山脈およびその周辺の様々な自然の普及活動のための、基礎調査や普及をお手伝いします。



2つめの議題は、飛騨地学研究会の新役員の相談でした。長い間、下畑会長、岩田副会長の基で活動を行ってきましたが、下畑会長、岩田会長より、新しい体制にしたいとの提案がありました。その結果、新役員は以下になりました。

- ① 名誉会長 下畑五夫 (ジオパーク担当)
- ② 会長 中田裕一
- ③ 副会長 中口清浩
- ④ 事務局 寺門隆治

3つめは、会費の徴収についてです。今年度は、集めることで了承されました。

3 飛騨地学研究会の会長交代にあたって

下畑五夫

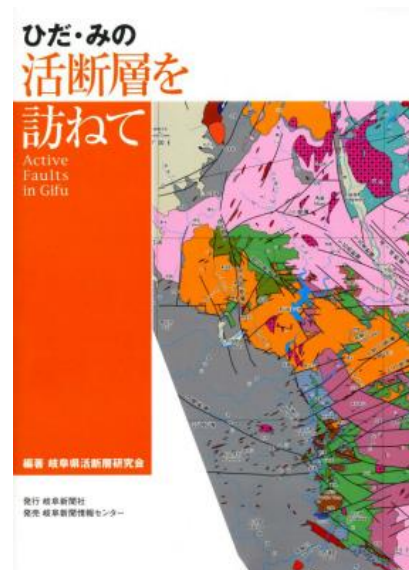
もう随分前のことですが、平成 29 年 3 月 4 日飛騨市の総合会館で地学研究会の総会を開きました。議題は会長・副会長・事務局長の交代および飛騨山脈ジオパークの進捗状況についてでした。この席で随分前から考えていたのですが生来の優柔不断さのせいで延び延びになり、なんと古希を迎えんというこの時期にようやく皆さんにお諮りした次第です。また、岩田副会長も小生と同時に交代という意向を示されました。

石原哲也初代会長の後、とても前会長のような力量もないのに何とか 20 数年間続けることができたのも、岩田副会長や中田事務局長をはじめとする研究会員の地学に対する熱い思いの賜物と深く感謝しております。その熱い思いは、当研究会が中心となって「ひだ・みの活断層を訪ねて」(2008 年)の出版にこぎつけ、さらに美濃の地学仲間とともに「みのひだ地質 99 選」(2011 年発行)出版ということになったと思っています。

これらの出版に向けて飛騨地学研究会の皆さんは実に精力的に取り組みました。会員の皆さんの地学エネルギーはすごいものだとも感心しています。なお蛇足ですがこの両出版物のタイトルの中の「ひだ」と「みの」の順番が逆でなかなかおもしろい。「ひだ」を前にしたのはただ単に小生の飛騨への思い入れ(我儘?)ばかりではないと思っているのですが・・・

その後、会としての統一研究テーマとして、「飛騨の滝を地学する」を提唱し小坂の根尾の滝・観音滝、清見の大倉滝、白川の白水の滝、平湯大滝などの巡検を実施しました。しかし、その後何となく静かです。

そこへ飛騨山脈ジオパークの話が降って湧き、様々な会議に会長ということで出席したり、会員の皆さんとどう取り組むかの意見交換をしたり、槍平までの巡検を実施したりしました。



「ひだ・みの活断層を訪ねて」表紙
(岐阜新聞社刊)

ジオパーク推進協議会（会長は高山市長）は、高山市の環境政策部が中心となって立ち上げられました。今度、新しく4月から旧上宝村の村上に事務局が開設されました。顧問には、信州大学の原山教授が就任されています。このような中であって、当研究会としては飛騨山脈ジオパークの認定に向けての協議会活動とどのように関わっていくかが大きな問題です。すなわち当研究会の活動の中にどう位置づけるかということですが、これについては新執行部が方向性を示されると思っています。

さて、その新しい体制ですが会長には、中田裕一氏、副会長に中口清浩氏、事務局長に寺門隆治氏が選出されました。この若く強力な新しい体制で地学を地楽する研究会がごいごいと運営されていくことと期待しております

なお、飛騨山脈ジオパーク推進協議会へは、今までの経緯上飛騨地学研究会を代表して会議等には引き続き小生に参加せよということになり、なかなか無罪放免とはならないようです。新会長の命ですのでできるだけ会議等には出席し巡検や研修会の折などにその都度話はして行きたいと思っています。

交代してから1か月半もたってこのような報告・挨拶をすることに対し会員の皆様にはたいへん申し訳なく思っていますが、体と脳が何とか動くうちはどんどんと会の活動に参加していきたいと思っています。よろしくお祈いします。長い間有難うございました。

(2017年5月17日記)

4 事務局だより

今度の談話会では、今後の活動の相談をしたいと思います。特に飛騨山脈ジオパークの話が進みつつあります。多くの会員のみなさんの出席をお願いします。

飛騨地学研究会のホームページをリニューアルしました。会誌や情報を掲載しますので見てください。「飛騨地学研究会」で検索してください。

会計がついに底をつきました。今年度は会費を集めます。1人1,000円（顧問以外）をよろしくお祈いします。支払いは活動に参加された時で結構ですが、以下の郵便口座でもかまいません。（振り込みの場合、9月末をめどにお祈いします。）



HP「フレームイラスト」より

【名前】 飛騨地学研究会 【郵便口座】 記号 12460 番号 21273311